

# 大阪国際空港 (ITAMI) がリニューアル 4月18日に中央エリアが 先行オープン

2020年の全面リニューアルに向けて改修が進む大阪国際(伊丹)空港で、4月18日に中央および屋上エリアが先行オープンする。これまで航空会社ごとに1階南北に二分されていた到着口は、2階中央に集約。また、到着口からペDESTリアンデッキを通過してバスやタクシー、モノレールなどの乗り場にダイレクトに接続でき、利便性が向上する。

中央エリアでは、商業施設が全面リニ

ューアルし、空港初・関西初出店などの30店舗が出店する。3階には、空港としては世界初となる、ワイン醸造所を併設するワインバル「大阪エアポートワイナリー」が誕生。ワインタンクや醸造風景を眺めながら、店内でワインや料理を愉しむことができる。屋上エリアでは、展望デッキの面積が従来の1.5倍に拡大。航空機を眺めながら食事できるカフェ「NORTHSHORE」や子ども向け施設「ボーネルンド あそびのせかい」も初出店する。



世界初、空港内のワイン醸造所。空港を経由地ではなく、目的地になる新たな楽しみ方のひとつとして誘致したという。



屋上エリアの展望デッキのイメージ。

便利で快適  
ワクワクいっぱいスポットに

グランドオープン時には、保安検査後のエリアにもウォークスルー型の商業施設を設置予定。担当者は「完成すれば、早めに搭乗手続きを

終えた後は、搭乗時間まで食事や買い物をゆっくりお楽しみいただくことができ、空港での時間の使い方が変わる」と話す。搭乗前や到着後はもちろん、航空機の利用時以外でも家族や友達と出かけて食事や買い物を楽しめる空港に生まれ変わり、観光スポットとしても注目が集まりそうだ。

## 鷹による カラス駆除を実施

西宮市南部を中心に、10年以上前から問題となっているのがカラス被害。市ではこれまで、カラスの餌となる生ごみのごみ出しマナー向上を市民に呼びかけたり、住宅近くに作られた巣を撤去したりしてきた。新しい対策として、カラスの天敵である鷹を使った駆除に乗り出している。鷹匠(たかじょう)が害鳥対策のために調教した鷹を定期的に放ち、鷹の縄張りだと思わせてカラスを追い払うというもの。平成29年度は試験的に実施したところ、カラスの減少が見られたため、平成30年度から本格的に取り組む。ごみス



鷹の飼育、訓練を行う専門家・鷹匠が鷹を飛ばしている様子。

テーション数カ所や子どもの出入りが多い子育て総合センターのほか、カラスの集団が夜を過ごす場所を狙って、鷹匠が鷹を放つ。平成31年度も同様に実施し、2年間の効果を測定し、その後の対策に活用する予定。市の担当者は「新しい対策として始めているが、長期的に効果があるのは餌を与えないこと。ごみ出しマナーの向上に引き続き協力してほしい」と話している。

## JR芦屋駅前再開発事業の 事業協力者が決定

JR芦屋駅南の約1.1ヘクタールで進められている市街地再開発事業。平成29年3月末に都市計画決定し、昨年11月、事業協力者に東急不動産・竹中工務店共同企業体を選ばれた。芦屋市が事業を進めるにあたって、再開発ビルや商業施設運営などの実績がある同共同企業体のノウハウを取り入れることが狙い。市が計画を具体化する際の助言や提案、地元会議等への出席や運営支援などを行う。

同事業は平成30年春頃に事業計画を決定する予定で、募集時の提案では、地上11階地下1階の建物に、住宅や商

業施設、公益施設、駐車場なども入るとしている。事業計画決定以降は、再開発ビルに移る各権利者と具体的な調整に入る。事業完了時期は平成35年3月頃を予定。



東急不動産・竹中工務店共同企業体が提案した事業企画(イメージパース)。あくまでも提案内容であり、最終的な採用計画ではないという。

## 「バイキンひみつ基地」がオープン

神戸アンパンマンこどもミュージアム&モールは、今年4月のオープン5周年を記念し、新施設が3月16日に登場する。ばいきんまんが主役の体験型遊び空間「バイキンひみつ基地」で、関西初となる。中に入って遊べるバイキンUFOや巨大メカ「だだんだん」のぞくと自分の顔がばいきんまんの仲間に変身してしまうモニターなど多数の仕掛けが盛り込まれている。その他、親子



©やなせたかし/フレール館・TMS-NTV  
バイキンひみつ基地

で体を使って遊べるスペースや「ドキンちゃんのへや」もある。担当者は、「昨年夏には有料入館数300万人を突破しました。今後より多くのお客様にアンパンマンの世界を楽しんでいただきたい」と話す。

## 川端康成が学んだまち 茨木市が文学賞を創設

今年市制施行70周年を迎える茨木市が、記念事業として「川端康成青春文学賞」を創設した。昭和43年に日本人で初めてノーベル文学賞を受賞した川端康成は、幼少期から青年期までを茨木市で過ごし、この地で作家を志したという。選考委員には芥川賞作家の羽田圭介氏や津村

同賞のキャッチコピーは「小説の傑作が出来るをうたがわらない」。旧制茨木中学校(現在の茨木高校)在学中に記した日記の一文から引用された言葉だ。



記久子氏、脚本家の大野裕之氏を迎え、全国から青春を描いた小説を募集する。6月末まで受け付け、12月に大賞などを発表する予定。詳細は茨木市HPにて。

## 「よく考えよう 自分のアルバイト」

協力:兵庫県警察

進学・進級で新しい生活が始まるこれからの時期、新しいアルバイトを始める学生や若者も多いだろう。しかし、アルバイトもよく考えて選ばなければ、自身が犯罪被害に遭ったり、犯罪に加担したりすることになりかねないことをよく知っておいてほしい。

### 【性犯罪等の被害に】

「高額収入」「簡単な接客」「電話で会話するだけ」と誘われて、性的な被害や、AV出演などを強要される場合があるので気をつけよう。

### 【特殊詐欺の共犯者に】

「電話勧誘」「荷物の受け取りや転送」を頼まれ安易な気持ちで、知らず知らずのうちに犯罪に加担している場合があるので気をつけよう。

### 【被害者や犯罪者にならないために】

「友人や先輩に誘われたから」「お金が欲しいから」などと安易に考えず、その仕事の危険性や自分の将来についてしっかりと考えよう。また困ったときは、ためらわず、家族や学校、警察など周りの大人に相談してほしい。

### 【保護者の方へ】

保護者が、子どものアルバイトの内容や小遣い等の額にそぐわない高額なものを持っていないかなどについてしっかりと把握し、普段からコミュニケーションを図ることで、「危険なシグナル」を見逃さないことが大切。「JKビジネス」に関する被害や相談、各種トラブルで悩んでいる方は、近くの警察署・交番等に相談を。また、非行等少年問題に関する相談は、少年相談電話「ヤングトーク」や、少年サポートセンターでも受け付けている。



少年相談電話「ヤングトーク」  
無料ダイヤル 悩んだら トーク  
TEL.0120-786-109  
受付時間/平日9:00~17:30  
平成30年4月1日からは平日9:00~17:00  
夜間、土日、休日は留守番電話にて対応